

## 第6学年 体育「マット運動」

1つの技を分解し、課題をとらえ、解決していく態度を育む。

### 1 単元について

#### ■目標

- マット運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解し自己の能力に適した基本的な技を安定して行う。
- 自己の課題を見付け、その解決のための活動を工夫すると共に自己の考えたことを他者に伝える力を養う。

#### ■プログラミング教育の視点

- 1つの技を分解して考えることで様々な課題解決のポイントがあることに気づき、自分の課題解決のための練習の場や練習の仕方を工夫したり選択したりする。

### 2 指導計画

時間	主な学習活動	プログラミング教育の視点に立った留意点
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●マット運動の約束の確認</li> <li>●前転・後転の練習</li> </ul>	○マット運動に必要な基礎感覚を高める運動を授業の初めに行い、楽しみながら体の使い方を学ぶことができるように場を設定する。
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>●開脚前転の練習</li> <li>●開脚後転の練習</li> <li>●腕立て横とびこし</li> </ul>	○一つ一つの技の流れを分解したワークシートに課題解決のポイントを自分の言葉で記入し、自分のめあてを決める。
3 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●開脚前転の練習</li> <li>●開脚後転の練習</li> <li>●側方倒立回転の練習</li> </ul>	○友達とグループになり、互いに自分が見てほしい課題解決のポイントが出来ているか互いに伝え合う。
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>●開脚前転の練習</li> <li>●開脚後転の練習</li> <li>●側方倒立回転の練習</li> </ul>	○必要な技能を習得するための練習の場を自分で選択できるようにする。
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>●側方倒立回転の練習</li> <li>●伸膝後転の練習</li> </ul>	○タブレットを使用して演技を撮影し、自分の動きを確認する。
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>●できるようになった技を組み合わせて連続技をしよう（練習）</li> </ul>	○すでにできる技を組み合わせて連続した演技を考える。
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>●できるようになった技を組み合わせて連続技をしよう（発表）</li> </ul>	○安定した連続技ができるように運動に積極的に取り組んでいる。

### 3 本時について

#### ■目標

- 自分の課題解決のための活動の場を選択することができる。
- 自分の考えた課題解決に向けた方法を友達に伝えることができる。

#### ■プログラミング教育の視点

- 技の動きを細かく分割した連続写真に自分なりに気付いたポイントを記入し、練習に取り組んだり、友達に適切にアドバイスしたりすることができる。

### 4 本時の流れ

	●主な学習活動	○支援・留意点 ☆教科等の評価（評価方法） ★プログラミング教育の視点に関わる評価（評価方法）
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>●準備運動</li> <li>●準備</li> </ul> <p>【補助運動】 基礎感覚を高める 様々な運動を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習内容の見通しがもてるように、掲示資料を基に本時の学習の流れを伝える。</li> <li>○グループに分かれて、ゆりかごボール入れ、かえるの足うち、支持での川とび、肋木登り逆立ちを行う。</li> </ul>
展開	<p>【ポイント復習タイム】 前時に学習した開脚前転・開脚後転をポイントを確認しながら練習する</p> <p>【ポイント発見タイム】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;">側方倒立回転のポイントを知らう</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ポイントをみんなで確認する</li> <li>●技のお手本を見て、自分のワークシートにポイントを書く。</li> <li>●友達とペアで見合って、ポイントが出来ているか確認する。</li> </ul> <p>【チャレンジタイム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●難しかったポイントの確認</li> <li>●自分の課題に合った場を選択し、練習する。</li> </ul> <p>側方倒立回転 ・ゴムとびこし    ・三角マット</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★1つの技を分解し、連続写真に課題解決ポイントを書き込んでいる。「サッと立つ」「手をベタッとつける」等、自分なりにわかりやすい言葉を選んでいる。</li> <li>○課題解決のポイントを友達に伝えてから演技をする。見ている児童は、意識していたポイントが出来ていたかどうか伝える。</li> <li>☆自分の考えた課題解決に向けた方法を友達に伝えている。</li> <li>○難しかったポイントについて児童に聞き、その課題解決に向けた練習場や練習の仕方を指示する。</li> <li>☆自分の課題解決のために必要な活動の場を選んでいる。</li> </ul>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本時の振り返り</li> <li>●整理運動</li> <li>●片付け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の練習の振り返りや、友達の演技を見ていて気付いたことを振り返る。</li> </ul>